

# はくぶつかん

## M HIRATSUKA CITY MUSEUM '83 8月号

教育普及活動の紹介 14

### プラネタリウム

夏は今が真っ盛りで、海も山も明るい顔、顔…で賑わっている。今年は、涼を求めて相模川や近くの河川で、釣りや水浴びをする人も多い。

夏休みになると、博物館が賑わうのは何んと言ってもプラネタリウムだ。休みの期間中だけで、およそ8,000人もの方が観覧に来る。一回の定員は128名なので、期間中80回前後の投影をすることになる。

プラネタリウムは、ここのところ年々のブームに乗って、どこの施設もおお賑わいだ。サンシャイも五島プラネタリウムも、県内では横浜にある県立青少年センターや川崎の青少年科学館もそうだ。余りの人気と盛況さに、最近では、町田市にも新し

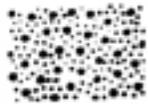
いプラネタリウムがオープンしたし、ちかぢか、お隣りの厚木市にも、公立のプラネタリウムができると言った具合だ。

ところで、平塚市の博物館(プラネタリウム)では、この夏、「地球をさがして」をテーマに、<宇宙には、別の地球が実在し、別の人類を創生しているのか、その条件に合う星>に関する解説(ストーリー)を、臨場感あふれる新音響システムを駆使して行っている。小・中学生はもとより、最近では、父親を中心とした家族連れが多く、たまには若いカップルの姿も見られる。この室内に居る45分間(投影時間)は、時のたつのも忘れ、きらめく星座のしじまに陶酔感がただようほどだ。

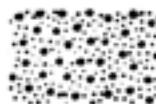
プラネタリウムの運営は、天文担当の馬、澤村職員の2人で行われている。投影日は、期間中、水・木(14時～)、土(13時40分、15時～)、日(10時30分、13時30分～)。



さあ、キミもこの夏、プラネタリウムの世界で新しい発見をしてみる気はないかな。ただし、この宇宙探索の費用(観覧料)は、1人100円だヨ。



## 8月の行事



あなたも参加してみませんか

1	月	(休館日)
2	火	
3	水	プラネタリウム、自然観察入門講座 「具化石を調べよう」
4	木	プラネタリウム 星を見る会「夏の星座」
5	金	↑ 体験学習「土器を作ろう」
6	土	↓プラネタリウム、古文書講読会
7	日	↓プラネタリウム
8	月	(休館日)
9	火	↑
10	水	サマー・セミナー
11	木	↓デッサン教室
12	金	デッサン教室
13	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
14	日	プラネタリウム
15	月	(休館日)
16	火	
17	水	プラネタリウム
18	木	プラネタリウム、自然観察入門講座 「シデムシを調べよう」
19	金	夏休み自由研究相談会
20	土	プラネタリウム、古文書講読会
21	日	プラネタリウム
22	月	(休館日)
23	火	自然観察入門講座「シデムシを調べよう」
24	水	プラネタリウム 星を見る会「惑星を見よう」
25	木	プラネタリウム
26	金	
27	土	プラネタリウム、石仏を調べる会 土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」
28	日	プラネタリウム
29	月	(休館日)
30	火	
31	水	(月末休館日)

### ●夏休み自由研究相談会

考古・民俗・歴史・生物・地質・天文・美術の各分野について、自由研究の進め方や資料などの相談に応じます。

日時 8月19日(金) 10～15時

場所 博物館・科学教室

### ●星を見る会「惑星を見よう」

夏の夜空を飾る惑星、星雲などを望遠鏡を使って観察します。

日時 8月24日(水) 18～20時

場所 博物館・科学教室

参加自由。当日、科学教室へお集まり下さい。望遠鏡等は博物館で用意いたします。

### ●体験学習「画集を作ろう」

身のまわりの雑誌・カレンダー・カラー刷り新聞などから絵を切り抜き、画集を作ります。

日時 9月20日(火) 10～16時

場所 博物館・科学教室

対象 一般

会費 1人500円(材料費)

申し込み 往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、9月1日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

### ●自然観察会「真鶴・岩海岸をたずねて」

海岸を歩いて、真鶴付近の地質や、磯の動物を観察します。

日時 9月4日(日) 8時30分～16時

(雨天中止)

場所 真鶴町岩海岸付近

申し込み 往復ハガキで、8月25日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

### ●寄贈品コーナー・展示替えについて

館内の寄贈品コーナーを使って、「中原上宿遺跡展」を行っています。期間は、8月2日(火)～9月18日(日)までです。

## Viva! 夏休み

### きみ もワイドに見て歩かないか

夏休み。やっぱり何か充実した感動体験を残したい。新たな「出逢い」と「発見」を求めて、さあ、今年はワイドに歩いてみよう。平塚市近郊の博物館、美術館などでは、特別企画をして君たちを待っている……。開館時間、休館日、入場料など、各施設によって違うので、事前に電話で問い合わせてから出掛けよう！

#### ■NHK放送博物館 夏休み特集「アニメーションのすべて」

アニメーション原画の展示、アニメ映画の上映、制作の実演などを行っている。ほかに、放送の発達・変せんを示す資料を、いっぱい展示してある。

7月12日～9月4日まで  
地下鉄銀座線虎ノ門駅下車  
☎03-433-5211



#### ■神奈川県立博物館 特別展「黒潮の生きもの」

7月23日～9月4日まで  
根岸線桜木町駅下車(馬車道通)  
☎045-201-0926

#### ■神奈川県立金沢文庫 特別陳列「徒然草の絵巻と版本」

特別陳列のほかに、「武士と僧侶の学問」をテーマにして鎌倉時代の資料を展示している。

8月3日～9月29日まで  
京浜急行金沢文庫駅下車、徒歩15分  
☎045-701-9069

#### ■神奈川県立近代美術館 「小田養彫刻展」

彫刻家：小田養(じょう)氏の彫刻75点、版画112点を展示。

8月6日～9月4日まで

鎌倉・鶴岡八幡宮境内

☎0467-22-5000

#### ■横須賀市人文博物館 完成記念特別展「黒船の来航」

人文博物館の開館(6月1日オープン)を記念して、ペリー来航時の資料を中心に展示している。

6月2日～9月29日まで

京浜急行横須賀中央駅下車、徒歩10分

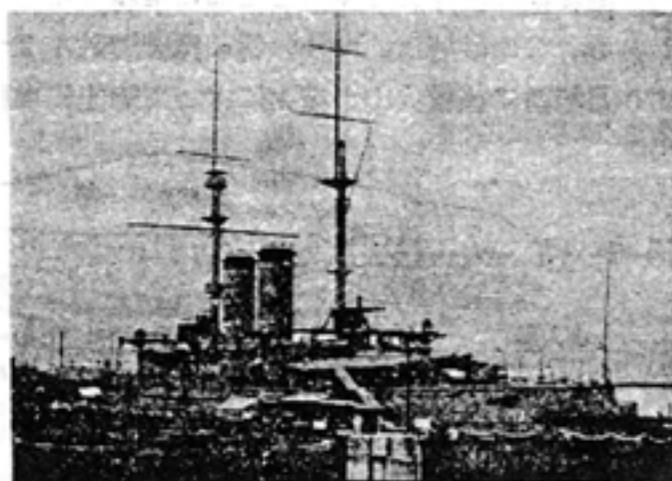
☎0468-24-3688

#### ■記念艦三笠 「世界の国旗、国章展」

～8月31日まで

京浜急行横須賀中央駅下車、徒歩10分

☎0468-22-5408



#### ■MOA美術館 「近代日本画の巨匠たち」展 狩野芳崖、横山大観、小林古徑らの作品を特別展示。

8月1日～8月31日まで

国鉄熱海駅下車、徒歩15分

☎0557-81-5785

#### ■箱根町立郷土資料館 企画展「東海道五十三駅」

開館(7月21日オープン)を記念して、東海道の全容と宿駅の様子を展示している。

7月21日～11月30日まで

箱根湯本駅下車、徒歩5分

☎0460-5-7111

電車+バスで、彫刻の森美術館→大涌谷自然科学館→箱根関所資料館を訪ねるのも面白いヨ。

## § 平塚なるまんぞう物語 §

### 2 地層は語る

今回ナウマンゾウが産出した、平塚市上吉沢・山田屋敷の「城南白洋舎」裏の崖（露頭）について見てみよう。

この露頭は、幅80m、高さ20mほどの崖であり（下図）、南西のゴルフ場付近から北東へ延びる屋根を胴切りにして作られたものである。

小屋の左手（東側）の地表面付近には、火山灰質の泥層が認められる。この地層（土屋層）は、その顔つきと上に重なる地層から、約18～15万年前位に、古い谷を埋めた堆積物と考えられる。

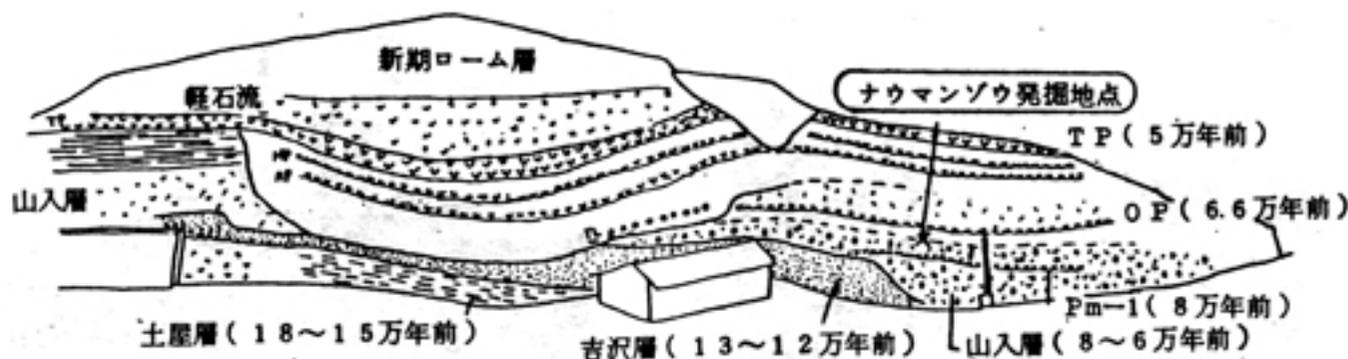
この土屋層の上位には、砂層（吉沢層）が3mほど堆積している。この砂層は、下末吉海進期と呼ばれる、約14～13万年前にかけての凡世界的な温暖期に内陸まで侵入した海に堆積したものである。この砂層は、向かい側の露頭で約12～10万年前に箱根火山の噴火によって陸上に堆積

石…OP)をはさんでいる。従って、9万年ほど前に谷ができ始め、8～7万年前には、上流の河川の運搬によってレキが堆積して谷を次第に埋め、6万年前頃には沼沢地化して泥層が堆積したと考えられる。

ところで今回発見されたナウマンゾウは、Pm-1の上位30cmから産出した。また、ゾウ化石は4×8mほどの区画にまとまって産出するので、さほど遠くから運ばれたものとは考えにくい。ナウマンゾウは、約7.5万年前頃、ほぼこの場所で埋積されたものと思われる。谷の中に入って、軟弱な堆積物に足をとられて死亡したのであろうか？

これらの吉沢層や山入層を削りこんで、露頭中央には、さらに新しい5.5万年ほど前の谷地形がみられ、いわゆる赤土層（新期ローム層）におおわれている。この谷地形は現在の屋根すじに一致している。現在と5.5万年前とでは、屋根と谷の地形が全く逆転していたのである。

この谷は、箱根火山の中で最も激しい噴火により堆積した軽石（東京軽石…TP）と、それに引き



した軽石層に富むローム層（吉沢ローム層）におおわれる。従って、砂層を堆積させた海が後退して陸化したのは、約12万年前ということになる。

さらに、ここでは吉沢層を削って山入層と呼ぶ地層が堆積している。この地層は、下半部が水中に堆積した軽石や火山灰を多量に含む、角レキ層である。この地層中には、木曾御岳から約8万年前に飛来した軽石層（御岳第1軽石…Pm-1）を含んでいる。また上半部は、水中に堆積した火山灰層ないし火山灰質泥層よりなり、この中に箱根火山より6.6万年前に噴出した軽石層（小原台軽

続く軽石流堆積物におおわれる。この軽石流というのは、箱根火山の火口から軽石や火山灰が高温のガス体（熱雲）となって、ものすごい速度で山腹を流れ下って来たもので、大磯丘陵一帯に広く分布し、相模川を横断して、横浜西部にまで達した。この軽石流噴出の直後、箱根火山は大陥没をおこし、カルデラが生じたといわれる。

このように、ナウマンゾウが発見されたこの露頭ひとつだけでも、18万から5万年前に至る土地の生いたちを、地層は如実に物語ってくれるのである。